

# 熊本県立天草青年の家 指定管理者 平成28年度 管理運営評価票

所管部課：教育庁教育総務局 社会教育課

## I 施設の管理概要

指定管理者名	ひとつくりくまもとネット・三勢共同体
指定期間	平成24年4月1日～平成29年3月31日
施設概要	1 所在 上天草市松島町合津5500番地 2 施設 本館、講堂、宿泊棟、体育館、屋根付き運動場、キャンプ場等 3 目的 本施設は、健全な青少年の育成と県民の生涯学習の振興を目的として設置された県立の青少年教育施設である。宿泊施設及び各種の体験活動のための施設・設備を活用して、利用団体による自主的な研修利用のほかに、自然や季節の特徴を生かした教育的プログラムとして企画事業を実施している。自然の中での体験活動が中心であるため、特に利用者の安全確保に留意して運営している。
指定管理料	300,255,186円（4施設合計、利用料金制）

## II 管理運営の評価

### 1 管理業務の水準の評価

管理業務の水準を表す指標	目標値	実績値	備考
研修者延べ数	41,048人	41,323人	前年度実績39,001人
研修活動中の事故の有無	0件	0件	軽傷を除く

#### 【点検・調査結果及び評価】

熊本地震による施設の大きな被害がなかったため、継続的な運営が可能だったことに加え、秋以降熊本市内の中学校の利用が増えたこと等により、過去5年間で最も多くの研修者を受け入れ研修者延べ数で前年度比106%となり、目標値も達成することが出来た。

県教育委員会としては特に利用者の安全確保を重視して指定管理者に指導を行ってきたところであり、今後も引き続き活動中に重大事故が発生しないよう取り組んでいただきたい。

### 2 管理業務実施状況

#### ① 施設維持管理業務実績

作業項目	業務内容	実施回数	備考
清掃	所内清掃	通年実施	
保安・警備	宿直業務	通年実施	
	ボイラー運転監視	通年実施	
保守点検	電気保安点検	年12回実施	専門業者に委託して実施
	エレベーター点検	年12回実施	専門業者に委託して実施
	消防設備点検	年2回実施	専門業者に委託して実施
	地下タンク漏洩検査	年1回実施	専門業者に委託して実施
	給湯用ボイラー点検	年2回実施	専門業者に委託して実施
	害虫駆除	年2回実施	専門業者に委託して実施
	貯水槽清掃	年1回実施	専門業者に委託して実施
	簡易専用水道検査	年1回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽点検	年24回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽清掃	年2回実施	専門業者に委託して実施
	浄化槽法定検査	年1回実施	専門業者に委託して実施

し尿汲み取り	年 1 回実施	専門業者に委託して実施
吸収式冷温水機点検	年 3 回実施	専門業者に委託して実施
防犯カメラ監視	月 1 回実施	専門業者に委託して実施
水質検査（残留塩素）	週 1 回実施	
建築設備点検	年 1 回実施	

**【点検・調査結果及び評価】**

施設設備の清掃、保安・警備及び点検等については、仕様書のとおり専門業者が実施するなど回数・内容ともに水準を満たしており良好である。

**② 運営事業実績**

**【主な事業・イベント】**

事業・イベント名	開催日時	参加者数	内 容
スマイル満開！春のふれあいファミリー	5月7日～8日	36人	天草の海・山での自然体験活動を家族で楽しみ、自然への興味関心を高めるとともに家族の絆を深める。
天青楽校～Fun&Smile～	6月25日～12月17日 年10回実施	268人	年間を通じ定期的に体験活動を経験できる機会を設け、地域を愛するたくましく感性豊かな子どもを育成する。
“ほっ”とする場所！「アマサー」	6月27日～3月13日 年4回実施	113人	中高年を対象に様々な交流の場を設け、地域の人材や資源を活用して、地域社会の活性化を目指す。
輝け！Seaキャンプ！！Vol. 2	7月24日～27日	30人	3泊4日のキャンプを通じ、思いやりや自然を愛する心を育むとともに、子ども達の生きる力を育成する。
弾丸！マリントラベラー	8月27日	18人	天草の大自然の中での活動を通じて、同世代の仲間と交流を深めるとともに、今後の活力を生み出す。
天草の自然を満喫～ファミリーで防災体験！	9月17日～18日	44人	体験活動のすばらしさを理解するとともに家族の絆を深める。また、防災に対する意識やスキルの向上を図る。
明日にきらめけ！チャレンジ元気キッズ！	10月8日～9日	33人	自然体験活動を通じ外遊びの楽しさへの理解を深めるとともに、子供達の創造力やコミュニケーション能力を育む。
“みんなのあませい” グランドゴルフ大会～目指せ！レジェンド！～	11月19日	156人	グランドゴルフを通して、地域における生涯スポーツの推進を図るとともに、地域住民の交流を深める。
“みんなのあませい” 秋の祭典	11月20日	728人	施設を開放して様々な体験活動に参加してもらい、活動への理解を促すとともに、地域に根ざした施設を目指す。
天青トレイルラン大会	1月14日	27人	施設周辺の自然に親しみながら、千元の森、千巖山を爽快に駆け抜け、トレイルランの醍醐味を味わう。
みんなで銀世界へ～スキーor雪遊び～	2月12日	24人	銀世界で家族や仲間と交流を深め、自然の雄大さについて学び、冬のスポーツへの興味関心を高める。
のぼらんね！山BOY・山GIRL	3月26日	44人	幅広い世代に、山登りの楽しさを体験してもらい、山登りへの興味関心を高めるとともに生涯学習の推進を図る。

**【点検・調査結果及び評価】**

マリンスポーツやトレイルラン等地域の自然等の特色を生かした教育的プログラムを中心に据えながら、新たに高齢者向け「“ほっ”とする場所！アマサー」を開催、小学生対象の「天草楽校」と併せて実施することで、世代を超えた交流の場を提供することに成功している。

また、例年と違って日帰りの事業が中心だったが、参加者実数は前年度比121%に増加しており、今後もニーズを的確にとらえた事業展開により参加者確保に努めていただくことを期待する。

### 3 利用状況

施設名	年計	年計	前年度計	前年度比
本館	開館日数	358 日	359 日	
	宿泊可能日数	358 日	299 日	
	利用日数	294 日	267 日	110.1 %
	利用率	82 %	74 %	110.5 %
	利用者実数	15,622 人	14,185 人	110.1 %
	利用者延べ数	30,679 人	25,680 人	119.5 %
キャンプ場	開館日数	358 日	359 日	
	宿泊可能日数	358 日	359 日	
	利用日数	19 日	18 日	105.6 %
	利用率	5.3 %	5.0 %	105.9 %
	利用者実数	353 人	330 人	107.0 %
	利用者延べ数	877 人	772 人	113.6 %
出前講座等	利用者実数	9,767 人	11,165 人	87.5 %

**【点検・調査結果及び評価】**  
 本館の利用は、熊本市内の小中学校の利用増に加え、地元体育施設と連携したスポーツ団体や部活動組織の合宿誘致への取組みが成果を上げ、大幅に利用者数を増加させ好調である。今後も、食事をはじめサービス全般の向上を図り、この流れを定着させることが必要である。  
 なお、地域との連携による出前講座等は、地元小学校 P T A への広報活動に力を入れた結果、利用者実数は減じたが利用団体数は昨年度に続き増加しており、今後の利用者数の増加に繋がることを期待され、評価できる。

### 4 管理経費の収支状況

① 収入		内 訳	金額(円)
利用料金収入	本館	一般3,719人、高校生以下11,011人、就学前の者202人	5,391,780円
	キャンプ場	一般74人、高校生以下321人、就学前の者0人	55,040円
	宿泊を伴わない利用	一般3,012人、高校生以下755人、就学前の者318人	338,950円
指定管理料	※指定管理者による本施設への振り分け		77,872,000円
企画事業等収入	1 2 事業		1,311,920円
その他活動収入（出前講座等）	出前講座 6 0 団体		198,714円
プログラム活動費関係			364,100円
食事代			26,040,830円
シーツ等クリーニング代			1,400,740円
雑費			615,627円
合 計			113,589,701円
		収入未済額	0円
		うち利用料金収入分	—

② 支出		
項目	内 訳	金額(円)
人件費		64,921,844円
施設運営費	旅費、管理費、活動プログラム費等	14,609,739円
維持管理費	光熱水費、業務委託費、施設修繕費	35,636,776円
企画事業費		1,238,421円
合計		116,406,780円
【点検・調査結果及び評価】 利用料金収入については適正に収納され、指定管理料と併せて管理運営に必要な支出に適切に運用されており、概ね良好である。		

## 5 利用者調査結果

調査実施内容	調査年月日	平成28年4月1日～平成29年3月31日											
	調査方法	全ての利用者団体にアンケート調査を実施											
	調査対象数	396団体											
調査結果	調査分野	回 答 内 容											
		非常によい		よい		普通		あまりよくない		悪い		無回答	
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
	集団生活を学ぶ場	310	78.3	51	13.1	6	1.5	1	0.3	0	0.0	28	7.1
	活動内容	322	81.3	54	13.8	13	3.3	0	0.0	0	0.0	7	1.8
	職員の受入れ対応	368	92.9	25	6.4	3	0.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	職員の指導・助言	350	88.4	31	7.9	3	0.8	0	0.0	0	0.0	12	3.0
	食堂スタッフの対応	166	41.9	42	10.8	16	4.0	1	0.3	0	0.0	171	43.2
	食事の質	122	30.8	66	16.9	30	7.6	4	1.0	0	0.0	174	43.9
	食事の量	125	31.6	65	16.7	29	7.3	5	1.3	0	0.0	172	43.4
	屋内の施設・環境	273	68.9	71	18.2	19	4.8	0	0.0	0	0.0	33	8.3
	屋外の施設・環境	284	71.7	59	15.1	13	3.3	0	0.0	0	0.0	40	10.1
	また利用したいか	ぜひ				機会があれば				利用しない		無回答	
	377	95.2			3	0.8			0	0.0	16	4.0	
利用者からの意見等	特になし												
【調査結果及び評価】 昨年度の指摘事項である「食事の質」については評価に改善の兆しがみられるものの、（全ての施設に共通だが）未だ改善の余地があると思われるので、喫緊の課題と捉え検討を行うとともに、モデル的な取組みの実施等に期待する。 また、他施設に比較して無回答の割合が多い（「食堂スタッフ対応」「食事の質」「食事の量」を除く）ので、利用者の声を運営に反映させるためにも、改善を図ってほしい。 なお、「職員の受入れ対応」に「非常に良い」との答えが9割を超えた施設は天草青年の家だけで、「是非また利用したい」9割の声と併せて、日頃の職員の努力が評価されたと考える。													

## 6 意見・苦情等の対応

利用者からの意見・苦情等	改善状況
あいさつ、言葉遣い等の接遇の質が低い	丁寧な対応について職員間での共通理解を図った。言葉づかい等の学習会を実施。
賞味期限切れの納豆が混在	食品購入業者の固定化、厨房職員による確認の徹底による再発防止策を実施。
蜂に刺された	巣を駆除、毎日の巡回と定期点検の強化による再発防止策を実施。
【調査結果及び評価】 意見・苦情等に対しては適切に対応しており、概ね良好である。	

## 7 昨年度の評価で、改善を指摘された事項に対する対応

指 摘 事 項	改善内容・結果
利用促進について	<p>①幅広い広報活動 上天草市内の全小学校のPTA総会で広報を行ったほか、観光協会や市観光おもてなし課との連携協力も図った。また、近隣の体育施設と連携し、合宿活動の誘致にも努めた。</p> <p>②企画事業の開催日程 閑散期に日帰りの日程を主に、回数を増やして、10回の事業を実施。</p>
食事の質の改善について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全面を考慮して生野菜の提供を控えているが、炒めたり、湯通しや煮つけにした野菜を加えることで、利用者アンケートの声（野菜が少ない）に応えようと努めた。</li> <li>・次年度にかけて、食堂のサービス改善に向けた取組みを喫緊の課題として検討予定。</li> </ul>
<p><b>【調査結果及び評価】</b> 指摘事項に対する取組は概ね評価できる。引き続き、利用促進のための積極的な広報活動、食事をはじめとするサービス全般の向上に向けて取り組んでいく必要がある。</p>	

## 8 その他

特になし